

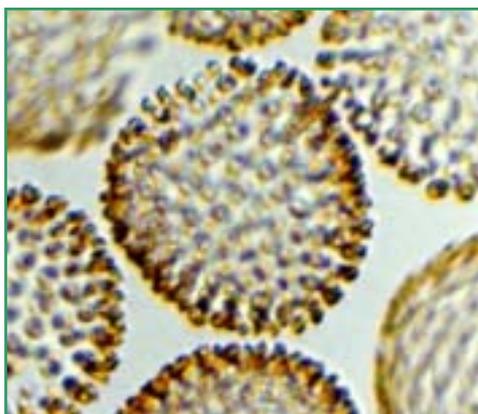
# 瀬田川プランクトン調査結果速報

～ 第8報 ～

滋賀県立衛生環境センター  
琵琶湖水質担当  
平成14年5月20日

## 1. 最も数が多かった種類（優占種）

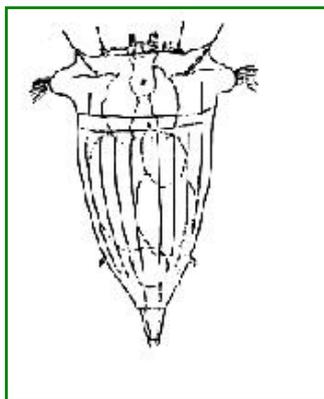
植物プランクトン第1優占種



*Uroglena americana*  
(ウログレナ)  
黄色鞭毛藻類

楕円形の細胞が球状の寒天質の表層に規則正しく配列し、球状の群体を形成する。各細胞は不等長の2本の鞭毛を有する。

動物プランクトン第1優占種



*Synchaeta oblonga*  
(ナガマルドロワムシ)  
輪虫類

体は円錐形で足は短く、先端の爪は微小である。体長は225～345 μm。体側は縦の条線があるのが特徴である。

コメント

淡水赤潮の原因となるウログレナの細胞数は徐々に減少傾向を示し、珪藻に属するオビケイソウやイトケイソウ、緑藻のクロステリウムが増加傾向を示している。動物プランクトンは、今週もドロワムシが個体数としては多かったが、甲殻類のゾウミジンコが400個体/Lと多く観察され、総体積量としては多かった。

## 2. 見つかった主なプランクトンとその数（個体数）

### (1) 動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体 / l)
繊毛虫類	<i>Synchaeta oblonga</i>	460

第 2 優 占 種		個体数 (個体 / l)
甲 殻 類	<i>Bosmina longirostris</i>	400

\* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

# 瀬田川植物プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター  
琵琶湖水質担当  
平成14年5月20日

第8報

## (2) 植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i>	1700		
(珪) <i>Melosira granulata</i> var. <i>angustissima</i>	330		
(珪) <i>Melosira granulata</i> var. <i>angustissima</i> f. <i>spiralis</i>	140		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	1000		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	30		
(珪) <i>Synedra acus</i>	3		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	80		
(緑) <i>Ankistrodesmus falcatus</i> var. <i>mirabile</i>	10		
(緑) <i>Mougeotia</i> sp.	40		
(緑) <i>Closterium aciculare</i> var. <i>subpronum</i>	130		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	2		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	1700	49.1	13.0
(珪) 珪藻綱	1503	43.4	13.6
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	80	2.3	4.0
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	182	5.3	69.4
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	3465	総体積	3.37E+06
種 類 数	11	( $\mu\text{m}^3$ )	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)  
ただし\*印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種  
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から  
試験的に推定した概算値である。